

## 第 157 回微小光学研究会 「ロボットと微小光学」

近年、民生から医療、産業応用までロボットが次第に普及して身近になってきた。ペットロボットに癒され、受付ロボットに案内され、手術ロボットに治療され、製造ロボットで作られた車に乗り、最近では生身の人間の表情をするロボットに驚かされている。実はこれらのロボットには知らぬ間に光技術が侵入している。今回はその一部を紹介し、今後のロボット社会を議論したい。祇園では、数年後に舞妓ロボットが歓迎してくれるだろう。“またおこしやす京都へ”

※当初京都工芸繊維大学で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のためオンライン開催となりました。

日時：2020年11月27日(金) 10:20-16:40

会場：Zoom を用いた仮想会議場(接続方法はお申込み後個別に連絡)

### プログラム

10:20-10:30	開会の挨拶	
10:30-11:00	ロボットフォトニクス ーロボットフォトニクス技術の概要と今後の展望ー	村井 健介(産総研関西)
11:00-11:30	ロボット用側域センサー(LiDAR)の開発	嶋地 直広(北陽電機)
11:30-12:00	セーフティーレーザースキャナーによる安全性と生産性を両立させた次世代 FA 現場の実現	清水 隆義(IDEC)
12:00-13:00	<昼食休憩>	
13:00-13:40	【特別講演】生物材料の特性に基づくセンシングシステムとロボット技術 ー精密農業からスマート農業への進化ー	近藤 直(京大)
13:40-14:10	産業用ロボットにおける3次元ビジョンセンシング	奥田 晴久(三菱電機)
14:10-14:40	視覚障がい者への道案内と安全確認におけるセンサー活用事例	今津 篤志(大阪市大)
14:40-15:00	<休憩>	
15:00-15:30	複数 LiDAR による協調移動物体追跡	橋本 雅文(同志社大)
15:30-16:00	ホログラフィーによる超高速イメージング	栗辻 安浩(京都工繊大)
16:00-16:30	ドローンからのレーザーセンシングによる防災・減災、強靱化	富井 隆春(アミューズワンセルフ)
16:30-16:40	閉会の挨拶	

参加費：一般 5,000 円, 学生・シニア 2,000 円(消費税込. 予稿集代を含む.) 応物会員は1000円減額.

参加申込：事前申込必要. 微小光学研究会ウェブサイト(<http://www.comemoc.com/>)よりお申込み下さい.

※開催数日前に Zoom 接続情報, 予稿集と請求書を発送致しますので, 参加費(予稿集代を含む)をお支払いください.

担当委員：山本(大阪大), 藤(大阪大), 片山(福岡工大), 木村(東芝), 桑田(三菱電機), 裏(京都工繊大)

問合せ先：三菱電機(株) 桑田(Kuwata.Muneharu ■cs.MitsubishiElectric.co.jp)(■を@に変えてください.)

微小光学研究会 代表:伊賀 健一 運営委員長:中島 啓幾 実行委員長:横森 清  
副代表:後藤 顕也 運営副委員長:波多腰 玄一 実行副委員長:宮本 智之

※プログラムは微小光学研究会のウェブサイト <http://www.comemoc.com/> でもご覧いただけます.